

現在、「広島県山岳・スポーツクライミング連盟」や中央組織の「日本山岳・スポーツクライミング協会」では、最近の動向を踏まえた「クマ対策」をまとめた資料はありません。

クマの状況が変化中、新たな知見が散見されますが、これらの情報を検証して、「山岳SC連盟」として確定的な「新たなクマ対策の資料」を作成する段階には、現在はありません。こうした状況下、この資料は、各種情報（行政の情報、マスコミ報道、ネット情報など）をまとめたものです。

1 「クマ」の種類

- ・日本には2種類のクマが生息しており、情報を見聞きする場合は、どちらのクマなのか、意識する必要があります。

「ツキノワグマ」 本州、四国に生息

「ヒグマ」 北海道に生息（ツキノワグマよりも大型）

- ・「ヒグマ」の情報は「ツキノワグマ」対策に参考となる部分があると考えます。

2 ツキノワグマの一般的な説明

【この項はウィキペディアからの転載 ネット情報】

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%84%E3%82%AD%E3%83%8E%E3%83%AF%E3%82%B0%E3%83%9E>

- ・頭胴長（体長）120 - 180 センチメートル
- ・体重オス 50 - 120 キログラム、メス 40 - 70 キログラム。最大体重 173 キログラム。
- ・食性は植物食中心の雑食性 …… 動物質のものを食べる場合も殆どは昆虫 …… 他の動物を捕食した例としてはニホンカモシカ、ニホンジカなどを中心に何件か報告されている。
…… 肉食の際に食べきれなかった獲物には土をかけて隠し、後で掘り返して食べるという習性がある。
- ・木登りは得意でしばしば樹上に居座り、枝を折って枝先の果実などを食べている。…… 幼獣は生後1週間で開眼し、生後2 - 3年は母親と生活する
- ・日本に限らず世界各地で農業、林業、水産業関係を中心に物損もしくは人身の被害が報告されている。…… 人身被害はこれらの業種に関係する人のほか、登山や山菜取りで山に入ったときにクマに出会った人、山際の集落に住む人などに発生している。防御目的の場合は、最初の一撃だけ加えてすぐ離れることが多い。「うつ伏せの防御姿勢」で急所を守ることが、環境省や自治体から推奨されており、秋田大学が行った調査でも「うつ伏せの防御姿勢」を行った生存者では重傷者が出ていないことが確認された（70人中、防御姿勢をとれた7人は重傷とはならなかったことから）
[65][66]。
- ・…… 巨体で肉食性が強く気も荒いというエゾヒグマによる獣害と死者はよく知られるところであるが、比較して体格も小さく弱いとされるツキノワグマでもこれだけの犠牲が現出した。…… クマは背中を見せて逃げるものを追う習性があるため、出遭ってしまったときは、静かに後ずさりすべきである[72]。

[65]クマに効果的な防御姿勢は存在すると判明！（2/3）”．ナゾロジー（2025年6月20日）。

2025年9月10日閲覧。<https://nazology.kusuguru.co.jp/archives/180027/2>

[66] 石垣, 佑樹; 木村, 竜太; 早坂, 萌; 渡邊, 颯太; 近藤, 麻実; 宮腰, 尚久 (2025-07-25), 臨床経験 クマに対する防御姿勢は有効か?-秋田県令和5年度データの解析, doi:10.11477/mf.055704330600070895 2025年9月10日閲覧。

<https://webview.isho.jp/journal/detail/abs/10.11477/mf.055704330600070895>

[72] “クマに注意！一思わぬ事故をさけよう” (PDF). 環境省. 2019年1月13日閲覧。他

<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/kids/full.pdf>

上記の資料内の記載の一部 クマの生態

クマは小さな音でも聞き分ける能力（聴覚）、イヌのようにわずかなニオイをかぎわける能力（嗅覚）をそなえた大型動物で、優れた運動能力をもっています。

◎木登り、穴ほりのために強い力と鋭いツメを持っています。

◎人より速く、時速40km以上で走ることができます。

◎水泳も得意で、木に登ることもできます。

3 クマの「執着」について

- ・「食べ物を得られる場所」として記憶し、執着した結果だと分析されています。

https://love-spo.com/article/z_kuma-31/

【これはヒグマの情報 ネット情報】

- ・本州における犠牲者発生事案で、犠牲者の近くに当該個体が残っており、後刻、駆除された事例が複数報道されている。→ その個体が獲得した「餌、食べ物」に対する執着か。また、クマに遭遇した時、もし、クマが興味を示している物を持っていたとしたら、それを置いて行かないと追いかけられる懸念があるか。

4 子連れ之母グマについて

- ・広島県のページ

子グマを見かけたら 近くに母グマがいます。絶対に近づかないで速やかに立ち去りましょう。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/wildlife-management/wm-bear02-attention.html>

- ・岐阜県のページ

子グマが箱罠に混獲された場合は、子グマを守ろうとして攻撃的になった母グマが罠周辺を徘徊するため、非常に危険です

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/446373.pdf>

5 中国地方の被害の発生状況

- ・島根県のページ

人身事故の発生について

2024年3月22日（金）に江津市桜江町（さくらえちょう）地内において、ツキノワグマによる人身事故が発生しました。

2024年10月25日（金）に浜田市三隅町（みすみちょう）地内において、ツキノワグマによる人身事故が発生しました。

https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/choujyu_taisaku/kuma_higaitaisaku.html

- ・ JNN（BSS山陰放送）のページ

相次ぐ「クマの民家侵入」39件発生（島根県益田市匹見町） **2024年の事例**

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1348908?display=1>

【マスコミ情報】

6 ツキノワグマは人を襲うのか

- ・ 島根県のページ

ツキノワグマは、積極的に人を襲うことはありませんが、次のような場合に人を襲うことがありますので、注意してください。

- 子グマを連れた母グマに出会った場合
- 自分の餌をとられた場合
- 出会い頭で人の存在に気がついた場合

https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/choujyu_taisaku/kuma_higaitaisaku.html

- ・ 秋田県のページ **【これは秋田県の実例】**

入山が禁止されている地域には入らない！！

積極的に人に接近するクマによる事故が発生しています！

以下の地域では、人が集めた山菜を奪う・積極的に人を襲うなど、危険性の高いクマによる人身事故が発生していることなどから、入山を禁止しています。

このようなクマについては、鈴やラジオ等の一般的な対策では事故を防ぐことが困難です（※）。

※積極的に人に接近するのは特定の限られたクマであり、ほとんどのクマは人の気配を感じると逃げるので、鈴やラジオなどの音出しは有効な事故防止策です。

県内で発生した大半の事故は、鈴やラジオなどを持たずにクマと鉢合わせをした結果、起きています。

入山可能なエリアでは、音を出すことで鉢合わせによる事故を避けましょう。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/23295>

7 人間の存在をツキノワグマに知らせる

- ・ 島根県のページ

○ツキノワグマは、音やにおいに敏感です。ほとんどは、人より先に人間の接近を知って逃げていきます。

○クマ鈴などの音の出るものを身につけ、人間の存在をツキノワグマに知らせましょう。

（注：鈴は大きい音のものであれば、一般のもので構いません。）

○天気の悪い日や、川のまわりでは、音や風向きで、ツキノワグマも人も気づきにくくなります。見通しの悪い場所には行かないようにしましょう。

○早朝や夕暮れ時はツキノワグマの行動する時間と重なります。外出の際は、特に気をつけ、音の出るものを必ず身に付けましょう。

https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/choujyu_taisaku/kuma_higaitaisaku.html

8 ツキノワグマと出会ってしまったら

・ 島根県のページ

至近距離で遭遇した場合は、次のような方法で対処します。

○逃げるものを反射的に追いかける習性があります。背中を見せないように後ずさりで離れます。

○持っている荷物を一つずつ置いていき、ツキノワグマの興味をそらせます。

○それでも襲ってきた場合は、首の後ろで手を組み、うつ伏せで丸くなり、去るのを待ちます。

https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/choujyu_taisaku/kuma_higaitaisaku.html

・ 秋田県のページ

もしも、クマと遭遇してしまったら、ゆっくりと後ずさりしながらクマとの距離をとり、静かにその場を立ち去りましょう。背中を見せて走って逃げはいけません！

住宅地では建物や車の中に避難しましょう。避難が間に合わない場合は、攻撃を受けづらくするため、電柱や塀など、自分とクマとの間に遮蔽物を挟みましょう。

万が一襲われそうになった場合、クマを退けるためにクマ撃退スプレー（強力なトウガラシスプレー）が有効です。

避難先やクマ撃退スプレーが無い場合は、顔や首を守る防御姿勢（下写真）をとりましょう。

クマによる事故では、首から上を損傷することが非常に多いです。

「命に別状はありません」と報道されていても、決して軽い怪我ではなく、顔面麻痺や失明に至る重傷の場合も多く発生しています。

万が一の際は、防御姿勢によって顔の大きな損傷を防いだり、首や頭を守ってください。

クマ撃退スプレーや防御姿勢は最終手段です！

クマと遭遇しないことが一番の安全策。クマと出会わない行動によって、クマとの事故を防ぎましょう。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/23295>

9 クマの嗅覚

・ TBS NEWS DIG

クマの嗅覚は人の 5000 倍？好むニオイは生ごみ、柿…だけじゃない 灯油やガソリンにも注意

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2262619?display=1>

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2262619?page=2>

【マスコミ情報】

10 全国からの情報

・ 中央組織を通じて確認しましたが、全国の山岳連盟や山岳会など定めた方針などは、今のところ確認できていません。

・ 以下、収集した「私見」情報です。

・ 「知床財団」のホームページは参考になる。【ヒグマの情報】

<https://www.shiretoko.or.jp/higumanokoto/bear/>

・ 北海道の、あるメンバーから「数回噴射できるスプレーを2本は持って歩いている。」との情報。

- ・クマ対策の装備としての、クマ鈴、笛、ラジオなどについては賛否両論あります。が、私は以下の考えです。

ラジオ 山菜取りなど動きが少なくクマ鈴が無効な場合ならいいけれども、音が鳴り続けることで周囲の音が聞こえにくく、クマの唸り声を聞き逃す可能性がある所以我は否定的。

クマ鈴 ラジオと同じ理由で否定的な人も居るけれど、走っている人でなければ音の出ている時間もそこそこあって周囲の音が聞こえないってことは少ないと思う。クマに離れた位置から気づいてもらえる可能性にかけてそれなりに有効と考える。クマ鈴がクマを引きつけるという説もあるが、エビデンスは全くないし、それを疑う事例も聞いたことない。溪流釣りの人に否定的な人が多いが、彼らは動かない上に沢音が大きい場所にいるからクマ鈴は役に立たっていないと思われる。もちろん、クマ鈴が有効だったというエビデンスもない。有効だったのなら、人が確認する前にクマが逃げているので有効性はなかなか証明できない。

笛 私は開けたところから鬱蒼とした林や藪に入るときに、大音量の笛やベアフォンを鳴らしている。クマ鈴より遠くにいるクマへのアピールのつもり。ただ、至近距離に居るクマに対しては、クマを錯乱状態に追い込む可能性があって危険。(盛岡市内の例)

クマスプレー 私は東北地方の登山には携行。粗悪品（噴射時間や距離が短い）も出回っているので注意。

熊をぼる 青森特産のクマ避け匂い袋。私も持っているけど、臭過ぎて同行者には極めて評判悪い。東北では、農家、キャンプ場で敷地境界によく使われている。

<https://www.dennouassist.co.jp/agriculture/kumaoboru>

<https://iki-sangyo.co.jp/log/?l=475861>

笛のところで触れたけれども、遭遇した時に大音量で騒がない、追い込まないのが重要かと。クマ居そうな視界の悪いところでは走らないこともポイントです。私は東北（主に秋田、岩手）でニアミスを何度も経験していますが、全てクマの方が先に気づいて去ってくれています。（去る足音や後ろ姿で気づく）ただ、人を襲いたいクマはどうやっても無駄なので猟師に任せるしかないかも。

- ・遭難救助の現場では「バスケストレッチャー」を使つての防御姿勢の研究が考えられる。その場合、クマの動きを考えた防御姿勢の取り方（クマにストレッチャーを取られない。）、防御姿勢にない他者の動きも考えたシミュレーションが必要か。

11 参考情報

環境省のクマ類の出没対応マニュアルのページ

<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/>

広島県の野生鳥獣の保護管理ポータルサイトのページ

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/wildlife-management/wm-bear-main.html>

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/wildlife-management/wm-bear02-attention.html>

(以上)